

NEWS RELEASE

2018年2月27日

【ニュートラシューティカルズ関連事業】新製品発売に関するお知らせ

エクエル
EQUELLE

美と健康の土台をサポート エクオールをおいしく手軽に 信頼のエクエルブランドから「エクエル ジュレ」新発売

- 大豆由来成分であるエクオールをはじめ、コラーゲン、カルシウムなどを配合したゼリー飲料「エクエル ジュレ」を4月3日に新発売
- 女性の健康と美容を応援するエクエルブランドの新アイテムとしてキレイと健やかさをカラダの内側からサポート

大塚製薬株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:樋口達夫 以下「大塚製薬」)は、女性の健康と美容を応援するエクエルブランドから「エクエル ジュレ」を4月3日より全国で新発売します。「エクエル ジュレ」は、女性の美と健康の土台を支える製品として開発しました。大豆由来の成分「エクオール」をはじめ、「コラーゲン」「カルシウム」など女性が摂りたい成分を1袋にまとめた、さわやかオレンジ風味のゼリー飲料です。女性のキレイと健やかさをカラダの内側からサポートします。

製品特長

エクオール 5mg

- 大塚製薬独自の乳酸菌^{※1}で大豆を発酵させた成分
- エクオール産生者が日常の中で産生している中央値レベル^{※2}を補える量

コラーゲン 2500mg

- 女性の1日の平均摂取量を超える量を配合^{※3}
- 吸収の良いコラーゲンペプチドを使用

カルシウム 210mg

- 女性の1日平均不足量を配合^{※4}
- カルシウムと一緒に摂りたいマグネシウムを105mg (CaとMgを理想的とされる2:1の割合で含有)
- カルシウムの吸収を助けるビタミンDを5.0μg



オールインワンゼリー

- 女性が摂りたい成分をまとめて1袋に
- 美と健康の土台をサポート

いつでもどこでも

- 手軽に持ち運べるパウチタイプ
- シーンを選ばない飲みきりサイズ

食感・味

- ふるふる食感のクラッシュジュレ
- さわやかオレンジ風味

※1 ラクトコッカス20-92 ※2 Ueno et al. J Functional Foods 2014;7:129-135 ※3 栄養学雑誌, Vol.70 No.2 120-128(2012) ※4 国民健康・栄養調査(平成27年)、日本人の食摂取基準(2015年版)

【エクエルブランドについて】

健康寿命の延伸や女性の活躍などが求められているなか、女性にはライフステージごとに心身に大きな変化が訪れます。

大塚製薬は長年の大豆研究から、大豆由来成分エクオールが女性の健康に密接な関係があることを発見しました。安全性・有効性を確認し、大豆を安全性の高い乳酸菌で発酵させたエクオール含有食品として、2014年に「エクエル」(サプリメント形状)を発売し、ゆらぎがちな時期を過ごす女性の健康と美をサポートしてきました。

このたび「エクエル ジュレ」を発売することで、エクオールをよりおいしく、幅広いシーンで摂取いただけるようになりました。

エクエルブランドの製品を通して女性が輝くための健康と美容を応援していきます。

エクエル  毎日摂取しやすいタブレットタイプ エクオール10mg(1日4粒目安) ■信頼できる医師、薬剤師からの推奨 ■医療機関、調剤薬局で販売	エクエル ジュレ  おいしく手軽に飲めるジュレタイプ エクオール5mg ■女性の美容と健康に嬉しい成分を1袋に
---	--

大塚製薬は、今後も Otsuka-people creating new products for better health worldwide の企業理念のもと、人々の健康維持・増進に貢献してまいります。

【製品概要】

製品名	エクエル ジュレ
栄養成分表示 1袋 100g 当たり	エネルギー 79kcal、タンパク質 3.4g、脂質 0g、炭水化物 17g、食塩相当量 0.07~0.13g、カルシウム 210mg、マグネシウム 105mg、ビタミン D 5.0 μ g
その他栄養成分	S-エクオール 5mg、大豆イソフラボン(アグリコンとして) 3.2mg、コラーゲンペプチド 2500mg
原材料名	砂糖、グレープフルーツ果汁、コラーゲンペプチド(ゼラチン)、大豆胚芽乳酸菌発酵物、寒天/酸味料、安定剤(大豆多糖類、CMC)、香料、増粘剤(タラガム)、酸化防止剤(ビタミン C)、甘味料(スクラロース)、カロテン色素
希望小売価格	250円(税抜)
賞味期限	9カ月

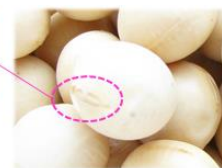
【エクオールとは】

エクオールは、大豆イソフラボンの一つであるダイゼインから、腸内細菌の働きによって産生される代謝物です。大塚製薬は長年の大豆研究により、女性の健康にエクオールが貢献することを見出し、臨床研究を重ね健康効果を明らかにしてきました。

しかしエクオールを産生できる人の割合は、日本や中国など大豆をよく食べる国では約50%、欧米人では約30%にとどまるといわれ^{*1}大豆を食べても、その恩恵を受けられない人がいます。また、産生できる人も健康状態やストレスにより腸内細菌は毎日変化するため、エクオールの産生量は変化し、急に作れなくなることもあります。

女性の健康維持・増進のためには、エクオール非産生者はもちろんのこと、産生者も、毎日エクオールを摂取することが大切であると考えられます。

大豆胚芽には大豆イソフラボンが豊富に含まれています。大豆イソフラボンは、3種類あります。



*1 日本女性医学学会雑誌, 20: 313-332, 2012